



見つけた!

私の輝く場所

サイドプレイスを見つけよう

サイドプレイス、それは、家でも職場でもない、第3の居場所。自分にとってこちよいときを過ごすことができる居場所のことをいいます。

新型コロナウイルスの流行をきっかけに、私たちの生活は一変しました。出かけることが減って、家と職場・学校などの往復だけという日が多くなり、人とのコミュニケーションを楽しんだり、リラックスして心を休めたりする時間がうまく作れない方も多いのではないのでしょうか。

そんな今こそ、このまちであなたのサイドプレイスを探してみませんか？遠くへ出かける必要はないし、何かに参加したからといって無理して通う必要もありません。皆さんが皆さんらしく、こちよく過ごすための場所として地域に目を向けたとき、きっとそこには、新たな出会いや発見があるはずです。

今回の特集では、地域で自分の居場所をつくった方、見つけた方にお話を聞きました。皆さんそれぞれが、自分らしく輝いています。さあ、あなたにぴったりのこちよい地域のつながりを探してみませんか？

花咲くおとめ座

活動日時 (チア)第1・第2・第4木曜日
16時～、(ちんどん)毎週日曜日3時間
活動場所 富士見市民センター
主な活動内容 介護施設訪問、ちんどん
BAND、チアダンスなど

このサークルは、社会福祉協議会の呼びかけで、1999年にレクリエーションボランティアグループとして結成されました。以来、鶴ヶ島ケアホームをはじめ市内外の介護施設や福祉施設などを訪問し、玉すだれなど和の芸能を披露しています。今はコロナ禍のため介護施設に伺うことができず、とても寂しく思っています。しかし、再開に備えて準備は万端です！

「花咲くおとめ座ちんどんBAND」は、ちんどん好きのメンバーに、その家族で楽器ができる男性3人が加わり、2005年から活動を始めました。介護施設はもとより、市内外の行事やお祭りに参加しています。コロナ禍でなかなか以前のような活動はできませんが、練習はしっかり続けています。最近、地元の「富士見地区地域支え合い協議会」主催の朝市での演奏依頼をいただきました。7月の猛暑の中での演奏でしたが、やはり聴いてくださる方がいての、ちんどんBAND。暑さもなんのそので、とても楽しい時間でした！

おとめ座の中には「Bloom fun fun」というチアダンスのグループもあります。5年前、市主催の「地域デビューきっかけ広場」で集まったメンバー達が加わりました。シニアのチアで、メンバーは60歳代以上、最高齢は80歳代！でも、皆すこぶる元気です！振り付けなどを覚えることに苦労しながらも、笑いの絶えない仲間たちとの時間はとても大切な元気の源です。おそろいのユニフォームは、サンプルを見ながらみんなで決めました。他に、2年に1度「花咲くおとめ座劇場」を開催し、懐かしい音楽や伝統芸能などを披露しています。地域で暮らす高齢者の方々が、おとめ座劇場での出会いをきっかけに、交流の輪を大きく広げていけたら素敵だと思っています。昨年の3月に、延期続きのおとめ座劇場を、富士見市民センターの協力により開催できたのは感激でした。

サークルのメンバーは、気心が知れた間柄で、お互いを思いやり合えるつながりができています。同じ目標に向かって、意見を出し合いながら一緒に作り上げていくのは、とても楽しい時間です。準備や練習など、時に大変なこともあります。私たちが楽しんで取り組んでいることが、見てくださる方にも伝わり、そして喜んでもらえるという経験は、私たちにとって大きな喜びや励みであり活動の原点になっています。



代表 はしもとふさえ
橋本房江さん



チアダンス練習風景



ちんどんBAND演奏 朝市にて



ワカパウォークにて

子育てサークル YURIKAGO

対象 0歳～3歳の未就園児
活動日時 毎週木曜日10時～
活動場所 東市民センター
主な活動内容 音遊び、ワークショップ、
 季節のイベントなど



創設者 かとう 加藤ちづるさん
 代表 みやざわひろか 宮澤絃加さん(中央)
かなざきあやか 金崎彩香さん(右)
せきぐちはるか 関口春香さん(左)



サークルの創設者である加藤さんは、慣れない2人のお子さんの育児にやっと落ち着きが見えてきたと思った矢先に、コロナ禍に突入しました。どこにも行けず、友達にも会えない、終わりの見えない恐怖の中で、「緊急事態宣言が明けたとき、安心できる場所、交流できる場所がほしかった」、その思いから、みんなで集まれる場所を作ろうと、児童館で知り合った宮澤さんに声をかけ、YURIKAGOをスタートさせます。

宮澤 元幼稚園教諭の経験を活かし、みんなを楽しませたいという思いでいろいろとやっています。現在会員は26組。運営メンバーが友達を誘うところから始めて、口コミで広がりました。

関口 私は、コロナ禍で児童館のイベントなどが中止になったりしている中、市内で何かやっていないかなとInstagramで検索したのがきっかけで、YURIKAGOと出会いました。知り合いがいなくても、皆さんすぐ声をかけてくれて仲良くしてくれました。入ってよかったです。

金崎 私は坂戸市民ですが、上広谷児童館に近く、子育てセンターなどもよく行っていました。お友達も鶴ヶ島市民ばかりだったので、コロナ禍で鶴ヶ島の施設が市民限定になってしまったときは、どこにも行くところがなくなってすごく落ち込みました。そんなときにサークルの立ち上げで宮澤さんから声をかけてもらって、またみんなで集まったり友達のつながりも増えてたりして、どんよりしていた気持ちが楽になりました。引きこもらざるを得ない状況で、あきらめかけていたときに、YURIKAGOのおかげで外の世界に飛び出せたんです。

宮澤 すべての悩みに共感し合えなくても、言える相手がいるというだけで大きく違います。ぼつりとこぼした悩みを拾ってくれて、言い合える相手がいる。私にとって本当に宝物です。もっとみんなでお話したいし、「もうすぐ木曜日だ!」とYURIKAGOタイムを楽しみにしてもらいたいです。

関口 お友達と一緒にないと…という感じではなく、1人で来やすい場所だと思います。1人で悩んでいる人にこそ来てほしいし、子どもの成長をみんなで見守れるような関係性になったらいいなと思っています。

金崎 子育ての悩みは人それぞれですが、人が集まればいろいろな話を聞くことができます。自分も楽しみながらイベントには特に力を入れて、YURIKAGOを盛り上げていきたいです!



親子ふれあい遊び



ワークショップ



音遊び



季節のイベント

わかば大学塾で写真を習っていた先生に、「せっかく今まで覚えてきたことを発表するつもりはないか」と写楽会に誘われ、加入しました。サークル創立から3年くらい経った頃です。

現在は、会員11人で活動していて、会員同士で、どこがいいとか悪いとか言い合って撮影スキルの向上を図っています。月1回先生に来てもらって、写真のトリミングや撮影の明るさなど、技術的なことを教わっています。年末に中央図書館で写真展を開いているのですが、毎回1週間で400人くらいの方々が来てくださり、とても好評です。

サークル創立当初の先生の教えである、「ボランティア活動のひとつとして写真というものを捉える」ということを大事にしている、社会福祉協議会の金婚式撮影など、少しでも皆さんの応援になればという思いでやっています。若い人とふれ合う機会がなかなかないので、過去に実施していた成人式の集合写真撮影では、私たちカメラマンに笑顔でポーズをとってくれる新成人たちを見ると、撮っていてとても楽しかったです。7月には「夏休み子ども写真教室」を開催し、子どもたちに写真の撮り方を教えました。子どもたちに喜んでもらえて、私たちもうれしかったです。サークルに参加して一番よかったことは、自分の撮った写真を発表する場ができたことです。いろいろなところに写真を展示する機会をいただけて、「写真見たよ」と声をかけてもらえることもあります。会員が集まれば、自分では気づかない視点でアドバイスもらえるのも大きいですね。

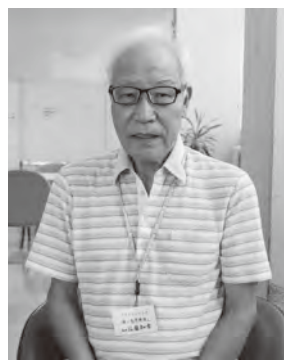
写真に興味のある方は、いつでも歓迎します！きっと人に写真を見てもらうことに喜びを感じるようになると思いますよ。

鶴ヶ島写楽会

活動日時 第1・第3火曜日13時～

活動場所 南市民センター

主な活動内容 写真撮影、写真展の開催、定例会など



代表 さとうともゆき
佐藤知幸さん



定例会



夏休み子ども写真教室



金婚式撮影

地域で見つけるサードプレイス、いかがでしたか？鶴ヶ島市には、400以上のサークルが登録されています。各市民センターおよび女性センターでは、日々様々なサークルが活動しています。自分の好きなことや得意なこと、チャレンジしてみたいことなどをきっかけに、ぜひ一歩踏み出してみてください。

見学や体験をするときは、各センター事務室にお声がけいただければ、職員がサークルとあなたをつなぎます。無理をして頑張るのではなく、自分がこちよいときを過ごすために、新たな楽しみを見つけてみませんか？

活動を見学したり、活動に参加したりする際は、感染症対策の徹底にご協力をお願いします。



団体・サークル一覧はこちら